

ハラスメント対応研修【全社員向け】

ねらい	ネットの情報を鵜呑みにするのではなく、現状のハラスメントの判断基準や常識を確認し、会社全体で認識の共有を図ります。 誰もが被害者・加害者になり得る社会に於いて、現場で起こりがちなハラスメントの実例を検討し、自らの言動を見直します。 ハラスメントの無い職場作りの為にできる事は何かを理解します。
対象者	全社員
所要時間	3時間

【プログラム例】

プログラム	項目	手法
ハラスメントの基本	・その常識間違っています（パワハラ） ・職場におけるパワハラの定義と条件 ・パワハラの条件と具体例 ・その常識間違っています（セクハラ） ・セクハラの判断基準とマタハラ ・問題解決までの流れと行為者の責任	講義 ディスカッション
被害者・加害者にならない為に	・情報の見極め ・認識のずれ ・意味の取り違えに注意 ・相手に対する思い込み	講義 実習
ハラスメントの無い職場作り	・傍観者にならない ・行動に目を向ける	講義

※ご相談の上、内容を変更する事は可能です。

ハラスメント対応研修【全社員向け】

【概要】

1	ハラスメントの基本
■ ハラスメントとは何かを正しく理解することから始めます。 パワハラ・セクハラ・マタハラの定義や関連法規を学び、受け手の感じ方が判断基準になることを確認します。誤解されがちな常識を問い直し、職場で起こりうる事例を通じて「何が問題なのか」を具体的に掴みます。	
2	被害者・加害者にならない為に
■ 「悪気はなかった」「冗談のつもりだった」では済まされない現実を学びます。 行為者側に意図がなくても、相手が不快に感じればハラスメントになる可能性があることを理解し、言動の見直しを促します。SNSや飲み会、日常会話など、職場外の場面でも注意が必要です。法的責任や懲戒処分リスクを知ること、予防意識を高め、誰もが安心して働ける環境づくりに貢献する姿勢を育てます。	
3	ハラスメントの無い職場作り
■ ハラスメントを「個人の問題」として放置せず、チームで取り組む姿勢を育てます。 見て見ぬふりをせず、声をかける・共有する・上司と連携するなど、具体的な対応方法を学びます。加害者・被害者を生まないためには、行動に焦点を当てた働きかけが重要です。挨拶・感謝・笑顔など、当たり前の基本行動が職場の空気を変える力になることを再認識し、日常の中で実践できるヒントを得ます。	